

6月1日 「戸隠ふれあいの森植樹祭」へ参加

【北信森林管理署】

6月1日（日）、黒姫山国有林内の「戸隠ふれあいの森」において、戸隠ふれあいの森森林整備協議会主催の植樹祭が開催されたことから、当署職員が植樹指導として参加しました。



開会式の様子

この植樹祭は、NPO法人戸隠森林植物園ボランティアの会とNPO法人やまぼうし自然学校で構成する当協議会が、「戸隠ふれあいの森に木を植え、鳥居川（とりいがわ）の水源に緑のダムをつくりよう」とのスローガンのもと、国民参加の森づくりの協定締結当初から毎年開催され、ボイイスカウト長野第一団が毎年参加しています。

コロナウィルス感染症の影響による縮小や中止もありましたが、24回目を迎えた今回、総勢約30名が参加し盛大な植樹祭となりました。



植樹会場の様子



元気いっぱいの団員

ブナ、トチノキ、ミズナラ、オオヤマザクラ、シナノキ、キハダの6種類の広葉樹の苗木を220本植樹したほか、以前植樹した苗木がニホンジカに食害された部分にも補助として植樹しました。



大きく育った初代の森

以前に植樹された木々も大きく育っており、戸隠ふれあいの森が多様な植物が溢れる豊かな緑のダムになってくれることを願っています。

山中の植樹は、植物の根がとても多く大変な作業でしたが、子供達は元気一杯で穴を掘ってすべての植樹を完了し、大きな達成感を味わっていました。



参加者の皆様